

# 生きる力

## 第 12 号

平成 27 年 11 月 10 日  
編集文責：中西秀幸  
発行：(株)中西商会  
〒745-0302  
周南市鹿野上 3217 番地  
TEL 0834(68)2106  
FAX 0834(68)2103  
日祝日はお休み  
毎月 10 日発行予定

10月の連休に、甥の結婚式で名古屋に参りました。愛と感謝に溢れたその式に感動いたしました。そして、夫婦というものは、二つの円がほぼ半分くらい重なり合ったような関係、人間関係は円が完全に一致しない関係、そのように深く自覚して末永く幸あれと祈っています。

# 岩崎家文化財をもっと活かそう！

江戸時代初期より潮音洞の掘開、鹿野市の成立、手習い場の開設、製菓薬業などで鹿野地域に多大なる貢献を代々された岩崎家、その文化財を保護、伝承しようとして活動されている団体があります。

岩崎家文化財調査は、平成11年から17年にかけて古文書、製菓用具等の調査が教育委員会を中心にして行われました。その時に見付かった岩崎文庫の一部は鹿野図書館の二階に展示されています。その中でも「和漢三才図絵」は貴重なものです。現在、絵画や美術品などの整理調査をその団体がされておられます。毎週金曜日の朝九時半から正午まで公民館に集まり活動されています。

その調査対象の文化財の数は数千点に及びます。スタッフ不足が問題になっています。ボランティア

アとしてご参加頂ける方はぜひ、ご協力を！もう一つの問題は、岩崎家文化財の絵画や美術品等が保管されている公民館の取壊し問題です。調査保管する場所がなくなると保護、伝承が困難になります。

また、岩崎家屋敷も江戸時代から三度の鹿野市の火災からまぬがれて、絵のような往時のままではありませんが現存しています。文化財として価値があるので長年、その保存を市に要請されて

いますが、なかなか実現しません。ご存知の通り早くしないと崩落の危険があります。そんな次第で趣のあ



岩崎家文化財（鹿野市）

つた「超世丸」の看板も今は鳥栖市の中富記念くすり博物館で保管されています。岩崎家の文化財は、鹿野地域の歴史をひもとき解明する上で重要です。加えて観光資源としても大切です。つつがなく調査整理が完了したら、その文化財を保管し展示する場所や建物が必要で、その場所として相応しいと思われるのが、岩崎想左衛門重友像の横の広場です。いまの銅像だけではその人物像やその貢献が十分に伝わらないのではないのでしょうか。

鹿野総合支所も公民館同様に耐震性に問題があり建替えが検討されています。食事や買物もできる清流通り観光拠点に加え、岩崎家文化財の展示施設を併設する。そのように総合支所を建替えられると鹿野が賑わうと思われま

# 長崎!生きる力!広島掃除仲間ご紹介作文

## 母(仮題)

荻野美智子(当時十才)

妹が、二才なる妹が、家の下じきなつて泣き、もがいている。

四、五人の水平さんが、みんなで力を合わせて二才の妹をおしつぶそうとしている大きな四本つづきの梁を動かそうとしますがびくともしません。よその人が水兵さんにかせいをたのみましたが、妹はもうだめだといって、みすててよそへ行ってしまふ。

お母さんは、なにしたのだろう。早く早くかけくたせ。妹がちぎれてしまふのに。

そんな時、むこうから矢のように走ってくる人がいる。みると頭の髪の毛が乱れている。女の人だ。はだからしい。むらさき色の体。大きな声をだして私達によびかけた。ああ、それがお母さんでした。

「お母ちゃん」

私たちも大声で呼んだ。あちこち火の手が上がり始めた。隣のおじさんがきて、妹をはさんでいる梁を動かそうと「ウンウン」力んでみたが、梁は、やっぱり動かない。それもそうでしょう。五人も

の元気な水兵さんが力をだしてもびくともしないのに一人のおじさんにはどうにもなりません。おじさんは、がっかりしたように大きなためいきをつきながら「あきらめんば、仕方なか」と言いのこして、おじぎをしてむこうへ行ってしまった。

火がすぐ近くで燃えあがった。お母さんの顔が真青になった。お母さんが小さい妹を見おろしている。妹の小さな目も下から見上げている。

お母さんは、ずっと目を動かし、梁の重なり方を見ました。やがてやがて、梁の一方所に右肩をあて、下口をウンとかむと「ウ、ウ、ウ」と全身に力をこめた。

「バリバリ」と音がして梁がおきると妹の足がはずれた。大きい姉さんが妹をひきだした。お母さんは、とび起きた。そして、妹を胸に固くだきしめた。しばらくして、思いだしたように私達は、大声をあげて泣きだした。お母さんは、その声をきくと、気がぬけたように、そのままヘタヘタと腰をおろしてしまつた。

お母さんは、お昼のナスを畑でもいでいて爆弾にやられたのでした。髪の毛は、パーマネントウェーブをかけすぎたように赤く短くぢぢれしていた。体じゅうの皮は、ジュルジュルになっていた。さつき妹を助けるためにかついだ肩のところだけ皮がベタリとはげ、肉があらわれ、血がしきりにでていた。お母さんは、ぐったりとなつて倒れた。

やがて、お母さんは、苦しみはじめ、もだえてもだえて、その夜死んだ。

## 鹿野を美しくする会

10月は豊鹿里パークの身障者用と女子トイレを二人で掃除しました。9月にやり残した男子小便器も綺麗にすることができました。今月は、旧徳山市内の青空公園の男子トイレを「日本を美しくする会」方式で15日(日曜日)8時より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。鶴首にて、お待ちしております！